

《二〇二四年度 第四回試験 国語》解答例

- 一
- ① いばら ② ひがん ③ たば  
④ 郡 ⑤ 財産 ⑥ 念 ⑦ 帯びる (2点×7)

- 二
- 問一 1 ウ 2 ア 3 エ (2点×3)

問二 登場人物 (4点)

問三 エ (5点)

問四 (1) 豊かな感性や柔軟な思考が生まれ、現実にはないことをイメージしたり、実現する方法を考えたりできて、他人を知るのに役立つ(こと)。【58字】 (6点)

(2) 欲しいものが簡単に手に入り、知らないことをスマホなどですぐに調べられるから。【38字】 (5点)

問五 C オ D ウ (2点×2)

問六 ウ (5点)

問七 (例) 私は学校に行きたくないと思ったことがないので、学校に行きたいのに行けない子が、どのような気持ちで過ごしているのかを知った。今後は、自分にとっては楽しいことをつらく感じている人もいることを想像して、人間関係を築いていきたい。(8点)

- 三
- 問一 1 エ 2 ウ 3 キ 4 ア (2点×4)

問二 マスク、メガネ (4点)

問三 今までだっ (5点)

問四 娘のちよつとした変化にいてもたってもいられなくなり、少しでも娘が前に進む、その手助けができるならば力になりたいと思っっているから。(7点)

問五 (気)前(がいい) (2点)

問六 登校してもなるべく目立ちたくない気持ち。【20字】 (5点)

問七 (例) おじいちゃんからのアドバイスを受け入れ学校へ行こうとした沙織の努力を認めつつも、やはり学校へ行くよう背中を押すような内容。(7点)

問八 オ (5点)